



大台町報徳診療所



大台町はユネスコパークにも指定された、山の緑と清流宮川が美しい自然豊かな地域です。
その中で、過疎へき地限界集落といわれる宮川地区の中心にあるのが『報徳診療所』です。
ここでは、この地域の特性と診療所の活動内容についてご紹介いたします。

大台町

大台町は2006年町村合併で旧宮川村と旧大台町が合併して発足した自治体で、奈良県境まで続く362.86K㎡と県内最大の面積を有し、町内全域が『大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク』に登録されています。

その大半は旧宮川地区からなり、この地域の95%以上は森林が占め、大台ヶ原を源とする一級河川「宮川」の源流部は吉野熊野国立公園に指定された自然豊かな町です。

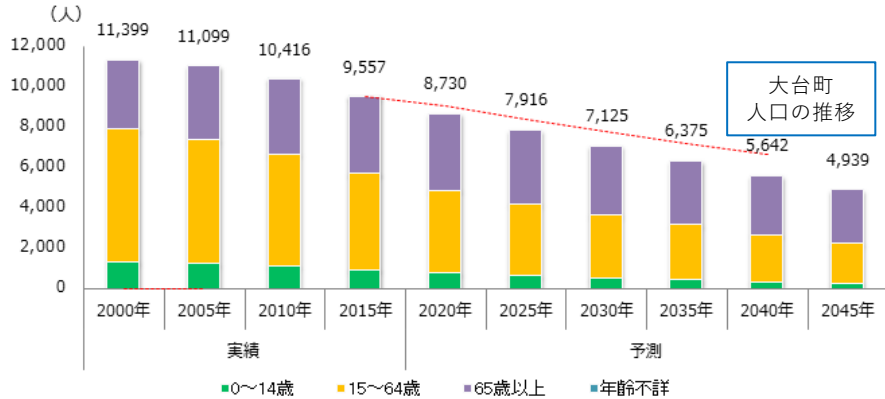


旧宮川地区

旧大台地区



大台町の問題

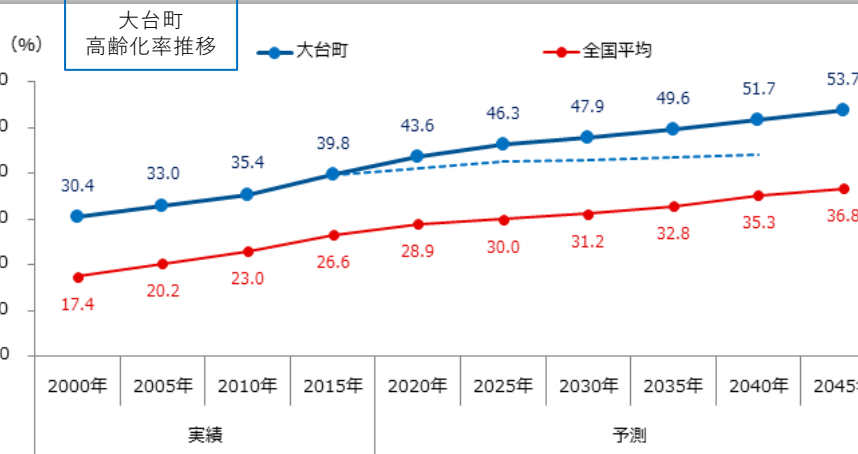


【2015年】

総面積 (km ²)	363	平均年齢 (歳)	53.4	昼夜間人口比率 (%)	95.5
人口密度 (人/km ²)	26.3	※昼夜間人口比率のみ2010年時点			

※図中の点線は前回2013年公表の「将来人口推計」の値 © jp.gdfreak.com

大台町では急速に進む人口減少と高齢化が問題になっています。人口は2023年で8,530人と過去5年の間におよそ1,000人減少しています。高齢化率も全国平均を10%程度上回っています(43.3%：2023年4月1時点)。



※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口割合(%)、年齢不詳を除いて算出

※図中の緑の点線は、前回2013年3月公表の「将来人口推計」に基づく当地域の高齢化率

© jp.gdfreak.com

宮川地域では状況はさらに深刻です。宮川地域(旧宮川村)は清流宮川の源流、日本でも有数の秘境といわれる大台ヶ原までのおよそ30kmの間に25か所の小さな集落「区」が点在する地域であり、「荻原地区」を除きほとんどの「区」が高齢化率50%を超える限界集落です。区によっては、65歳以上の占める割合が100%のところもあります。

荻原地区



報徳診療所



報徳診療所は宮川地域の中でも最も人口が多い「荻原地区」にあります。そのため、この地区の高齢化率は50%をわずかに下回り、報徳診療所以外にもいくつかの医療関連施設や公立の保育園から高校までの教育機関、またホテルなども川をはさんで見られます。また、信号機があるのもこの地域だけです。



学校群



ホテル



昭和初期の報徳病院



再編前の報徳病院



昭和48年当時

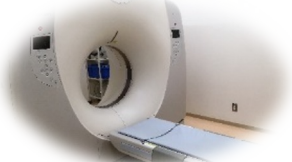
報徳病院から 報徳診療所

大台町報徳診療所の前身は、1936年農業協同組合の簡易診療所として開設されました。その後、報徳病院（病床数30）として特に旧宮川村の医療に貢献してきました。町村の合併などに伴い2015年医療再編によって、大台町報徳診療所として再スタートを切っています。



大台町報徳診療所

診療所内



診療所には内視鏡室、CT、透視などのレントゲン室、エコーや ECGなど生理機能を含めた検査室
リハビリ室、整形、眼科、内科、検診などの診察室、発熱患者対応室や処置室などを備えています。

診療室群

リハビリ
検診
整形
発熱
処置
内科

検査室群

内視鏡
CT
透視
単純XP
エコー
心電図

大台町報徳診療所 業務内容



診療：一般内科診療（月曜日～金曜日午前午後）
眼科診療 大学派遣医（週一回半日）
整形外科 大学派遣医（週一回半日）
大杉谷診療所（週2回半日）
特養施設入所者診療
個別訪問診療：適宜

健診：住民検診
事業所健診
特定健診
がん検診
学校健診（保育園から高校）

検査：血液生化学、ECG、肺機能、エコー、
レントゲン：単純、透視、CT（毎日終日）

内視鏡：胃内視鏡 大腸内視鏡

リハビリ：医療リハ
通所リハ
訪問リハ

けん玉リハ

スタッフ 医師：2名 看護師：7名
薬剤師：1名 検査技師：1名
放射線技師：1名 理学療法士：1名

報徳診療所ではわずかなスタッフで、これらの多岐にわたる仕事をこなしています。

医療モール



特別養護老人ホーム
「やまびこ荘」



大台町社会福祉協議会
「宮川福祉センター」



介護老人保健施設
「みやがわ」



医療モール

高齢者の多い地域医療においては、一人の患者に対して様々な業種がかかわってくる包括医療体制が必要です。

荻原地区には報徳診療所を中心に介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、社会福祉協議会などの医療関連施設が集まった医療モールが形成されています。

荻原地区

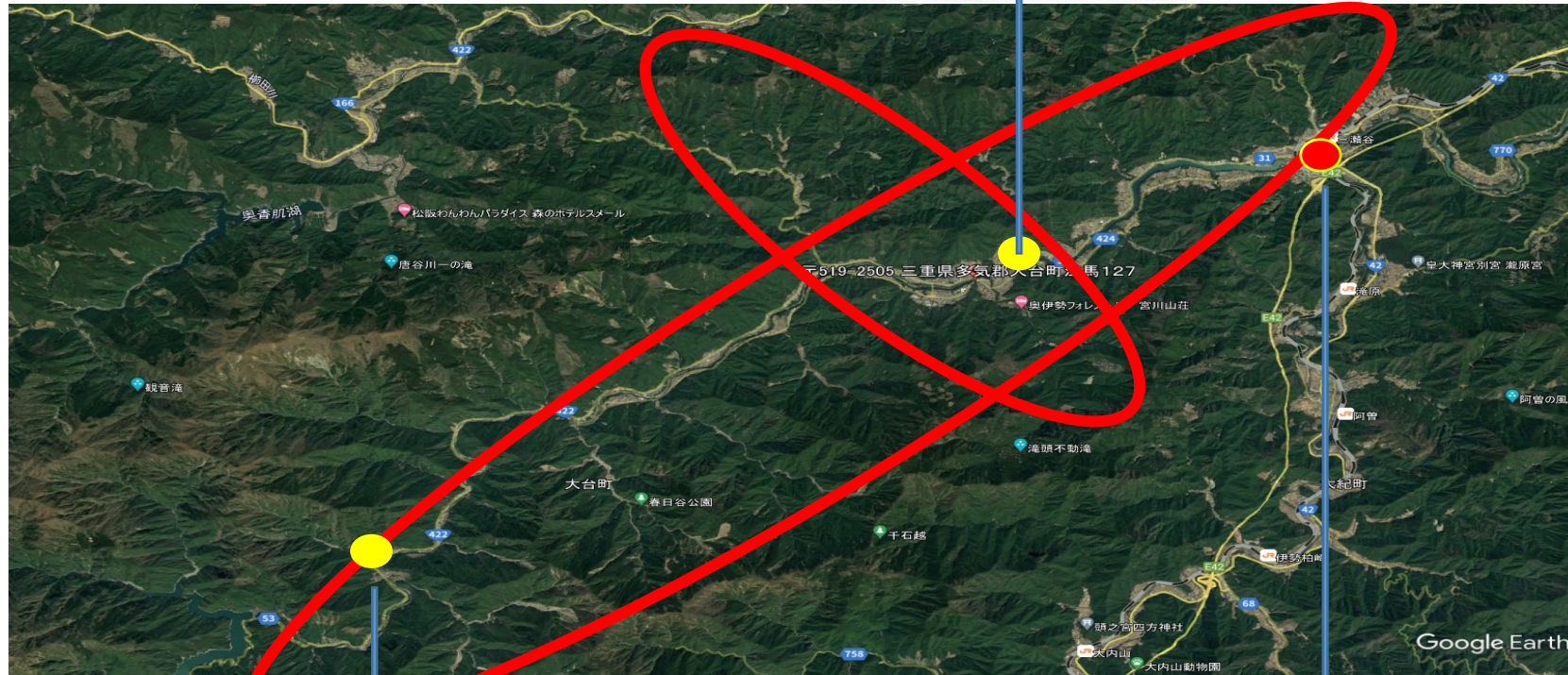


大台町報徳診療所

守備範囲



大台町報徳診療所



大杉谷診療所
20.2km

報徳診療所

三瀬谷駅
6.8km

報徳病院から続く報徳診療所の守備範囲は広く、ほぼ宮川地区全域にわたります。診療所から20km以上離れた高齢化率73%以上の大杉谷地区には、無人の大杉谷診療所があり、週2回診療を行うため出向しています。地域は広いため、往診や訪問リハビリなども一人で一度に対応できる人数には制限があります。



大杉谷無人診療所



大台町医療MaaS 報徳診療所の取り組み

医療MaaS（Mobility as a Service）とは、医療環境を整えるためにオンライン診療システムや医療機器を搭載した自動車を活用していく試みをさしており、現在いくつかの地域で実証、実装実験が行われています。



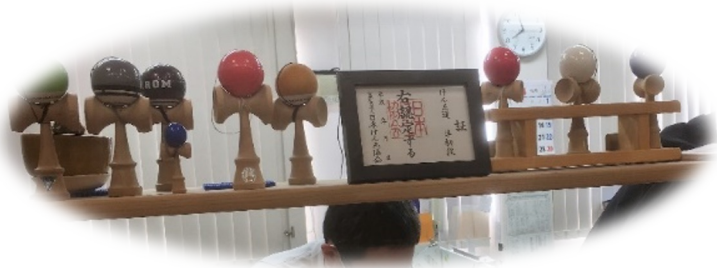
高齢で独居の方が多くなり交通の便も悪いこの地域では、疾患を抱えながら通院が困難な方もたくさんいらっしゃいます。

何とかこの状況が打破できないかと報徳診療所でも2021年からこの医療MaaSの実証実験を開始しました。少しでも少ない医師で広い地域をカバーしようとする試みの一つです。

詳しくは「医療MaaS」で検索、あるいは下のタイトルでご確認ください。

地域の医療課題に挑む医師が語る医療MaaSの未来とは？

(https://www.dnp.co.jp/media/detail/20168734_1563.html)



実は「けん玉師範」がいて
検定が受けられる報徳診療所



臨床研修医の皆さんには、病院で専門技術を身に着ける修練とは違った、地域医療の特性を学んでいただきたいために報徳診療所だけではなく、老健や特別養護老人ホームまた訪問看護モバイル医療にも携わっていただき、様々な経験を積んでいただけるように計画をしています。

大きな問題を抱えた地域医療を肌で感じ取っていただければ幸いです。

付録





診療以外にも、いろいろなことをやっています。研究会やワールドカフェ、消防訓練、防災訓練・・・。
もちろん、「けん玉」も・・・。



大台町報徳診療所

理念

「住民の健康への奉仕」

(地域住民に愛され、信頼される、診療所を目指します。)

診療方針

- 患者様に安心して受診いただける、安全第一の医療を行います。
- 保健・福祉と連携し、住民の皆様の「健康づくり」に積極的に貢献します
- 医療の質の向上に努め、常に自己研鑽に励みます。

大台町立報徳診療所

519-2505：三重県多気郡大台町江馬127番地

TEL：0598-76-1133 FAX：0598-76-1134

E-mail:houtoku@odaitown.jp



大台町立報徳診療所
519-2505：三重県多気郡大台町江馬127番地
TEL：0598-76-1133 FAX：0598-76-1134
E-mail:houtoku@odaitown.jp